

2025年日本平和大会実行委員会ニュースno.6



発行:2025年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2025/8/1
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

参院選の結果をうけ、大会の意義を討議し 「成功のよびかけ」2次を発信 第6回実行委員会

7月31日、オンライン併用で第6回実行委員会を開催。
9団体と愛知県実行委から15人が参加しました。

はじめに、東森安保破棄中央実行委事務局長が参院選と大会をめぐる情勢にふれてあいさつ。続いて、参院選の結果をどう受け止めているかなどについて意見交換し、実行委参加団体及び都道府県実行委員会への「成功のよびかけ(2次)」(案)を討議し確認しました(別添)。

また、愛知県実行委の矢野事務局長が開催県の取り組み状況を報告。愛知で組み立てられているF35がアメリカの核脅迫に加担し、愛知で生産されている長射程ミサイルの配備が始まろうとしているもと、愛知大会の重要性をますます感じていること、「学びと交流のつどい」(25日16時～)の準備を通じて実行委参加団体の取り組みが主体的かつ活発になっていることが報告されました。



東森安保破棄中央実行委事務局長の開会あいさつ(要旨)

参議院選挙でのみなさまのご奮闘に敬意を表します。本日の実行委員会は、大会まで3か月を切った中で、企画の具体化の推進、大会参加の促進、成功に向けた学習などを意思統一する会議です。

提案している「呼びかけ案」で述べられていますが、参議院選挙では、生活を破壊する自公政権に対し広範な市民が厳しい審判を下し、自公与党は衆参両院で過半数を割る結果となりました。沖縄で、米軍新基地建設や軍事要塞化に反対する「オール沖縄」の候補が勝利したことも重要です。同時に、憲法改悪・大軍拡などで与党と共通する補完勢力や排外主義的な野党が伸びたことは重大です。参政党は、かつて私たちの運動で廃案になったスパイ防止法の制定を具体的に検討していると伝えられています。

この間の新たな動きとしては、安保3文書に基づいて進められている長射程ミサイルの配備が今年度から熊本を皮切りに進められようとしていること、自衛隊と米軍が昨年実施された台湾有事を想定した最高レベルの机上演習で、中国に対して核の脅しで対抗するようにと、自衛隊が米軍に再三要請していたことが暴露されました。

世界の動きも、トランプの新たな軍事覇権主義で重大化しています。

いずれにしても、平和大会は、戦争が近づく新たな緊迫のもとで開かれますので、その役割を果たせるようにご奮闘を呼びかけます。

第6回実行委員会で確認した主な内容

1、国際シンポジウムのテーマと海外代表招請の方向

前回の実行委員会では、中心テーマである「いまこそ軍事同盟NO! 核兵器のない国連憲章に基づく平和秩序を」を仮題として確認し、パネリストとして米国、韓国、日本の3カ国の代表と

さらに1人招請することを確認し、より焦点となるテーマを何に設定し、それとの関係で残る1カ国のパネリスト対象をどこにするか、今回の実行委で討議することとしていました。テーマは、国民的関心事でもある、日本をとりまくアジアの平和をどうつくるかにおくことを確認。招請の対象としては、ベトナム、フィリピン、オーストラリアなどを対象に、運動の状況や日程などを踏まえて、人選していきます。

2、開会集会のアイデア

愛知県実行委から、学び交流するとともに行動する大会にする必要があるのではないかとということで、集会の最後にスローガンボードを掲げてコールをしたり、終了後会場の外でスタンディングをするなどを検討していきます。また、最後にうたごえによるフィナーレを組み込んでどうかとの提案もあります。登壇者をふくめ、これらについては事務局団体で詰めていきます

3、学びと交流のつどい、分科会の企画作りと魅力の発信

学びと交流のつどい、分科会の魅力が伝わるチラシなどを検討します。

そのため**中央団体による分科会の内容を次回実行委員会の前(8/22)までに確定できるよう準備をすすめてみましょう。企画書は安保破棄中央実行委へ。**

4、閉会集会の会場とパレードコースがままりました *開催要項に加えます

若宮広場が確保できました。名古屋市中区大須3丁目の高速道路高架下の全天候型の広場です。パレードは、この会場から南に向かい、地下鉄「上前津」駅前で流れ解散です。

5、企画の追加 *これらも開催要項で紹介します

■ オプショナル参加者交流会

10/24のオプショナル企画終了後、参加者による交流会を愛知県実行委主催で開催します。

時間：18時15分～20時15分、会場：労働会館東館ホール、参加費：4,500円

*オプショナル参加登録の際に参加の有無を確認します。

■ 関連企画「うたごえによる交流企画」(仮)

10/25の「学びと交流のつどい」のあと

時間：19時～20時半、会場：労働会館東館ホール、参加費1,000円(軽食付き)

【注】この企画にともなって、ピースシャウトの会場が労働会館本館(東館隣接)に変わります。

開催要項および大会しおりにその旨掲載します。当日の誘導等も行います。

6、プレ企画 学んで大会成功の力にしよう

■ 学習パンフ活用のための学習会(実行委員会として)

★8月20日の18時30分～20時(オンライン)

■ 実行委参加団体によるプレ企画

▶平和委員会 武器輸出禁止問題9月初旬予定、自衛隊員募集問題9月中旬予定

▶ほか、募集中!

7、参加組織の取り組み

■ ビラの活用をひろげよう

▶参加団体では、医労連大会、全労連評議員会で配布しています。

▶愛知は3万枚のうち、1.8万枚余が20団体で活用されています。(7/28現在)

▶他の道府県実行委員会へは、26都道府県に2万枚余届いています。(7/31現在)

■ 学習パンフを活用して学びを力に

▶参加団体では、全商連が全国会議で250部活用します。

▶愛知はすでに独自のミニパンフを約2千数百部活用し、大会パンフは500部取り寄せています。

▶都道府県実行委員会へは、31都道府県に1.2万部枚余届いています。(7/31現在)

8、次回実行委員会

第7回実行委員会 8月27日(水) 15時～17時